

当院において結膜リンパ腫の治療を受けられた方およびそのご家族 の方へ

—「結膜リンパ腫の長期予後に関する後ろ向き観察研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 生体機能再生再建医学分野
教授 松尾 俊彦

1) 研究の背景および目的

結膜リンパ腫は下眼瞼の奥に盛り上がった病変として見られる希な疾患です。結膜病変を切除して病理標本を作製して病理診断に到ります。結膜リンパ腫は切除後に追加治療をする必要はほぼなく、経過を診ていきます。まれに再発した場合は放射線照射をすると治ります。2000年1月から2022年12月までの22年間、同一術者（松尾俊彦）が岡山大学病院で切除して結膜リンパ腫の診断に到った10症例の診療録を調査し、再発が見られたかどうかをあきらかにすることを本研究の目的としています。結果をまとめて、2024年6月27日～29日開催予定の日本リンパ網内系学会大会で報告することを計画しています。本研究には企業からの資金提供はなく、特許権を含めて経済的利益を生み出すこともありません。

2) 研究対象者

2000年1月1日～2022年12月31日の間に岡山大学病院眼科において松尾俊彦が担当医として切除手術を行い結膜リンパ腫の病理診断に到った方であって20歳以上の方、10名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2024年12月31日

研究開始日を情報の利用を開始する予定日とします。

4) 研究方法

2000年1月1日～2022年12月31日の間に当院において松尾俊彦が担当医として切除手術を行い結膜リンパ腫の病理診断を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに病理結果、放射線画像診断結果のデータを選び、結膜リンパ腫の診断後、再発があったかどうかを調べます。

5) 使用する試料

この研究に使用する試料はありません。

6) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用しますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、診断名
- ・ PET/CT画像検査、診断後の治療の有無、経過観察期間、病理診断結果

8) 試料・情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学の松尾俊彦研究室で保存します。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

9) 研究資金と利益相反

この研究は研究責任者が管理する運営費交付金を用いて行います。この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

10) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 眼科 医師

氏名：松尾俊彦

電話：086-235-7952（平日：9時～17時）眼科外来

ファックス：086-235-7952

Eメール：matsuot@cc.okayama-u.ac.jp